

# 2023年3月期 第3四半期決算概要



日進工具株式会社

2023年1月31日  
(証券コード6157)

# 目次

<b>2023年3月期3Qの業績</b>	P. 3 . . .	第3四半期決算（累計）の概要
	P. 4 . . .	営業利益の減益要因
	P. 5 . . .	損益計算書サマリー
	P. 6 . . .	貸借対照表サマリー
	P. 7 . . .	四半期業績推移
<hr/>		
<b>2023年3月期の業績予想</b>	P. 14 . . .	業績予想
	P. 15 . . .	下期業績予想と進捗率
	P. 16 . . .	配当予想
<hr/>		
<b>参考資料</b>	P. 18 . . .	過去5年間の業績と主要データ推移
	P. 19 . . .	投資指標
	P. 20 . . .	株価推移とバリュエーション
	P. 21 . . .	I R 情報サイトのご案内

# 2023年3月期 第3四半期の業績



## 第3四半期決算（累計）の概要

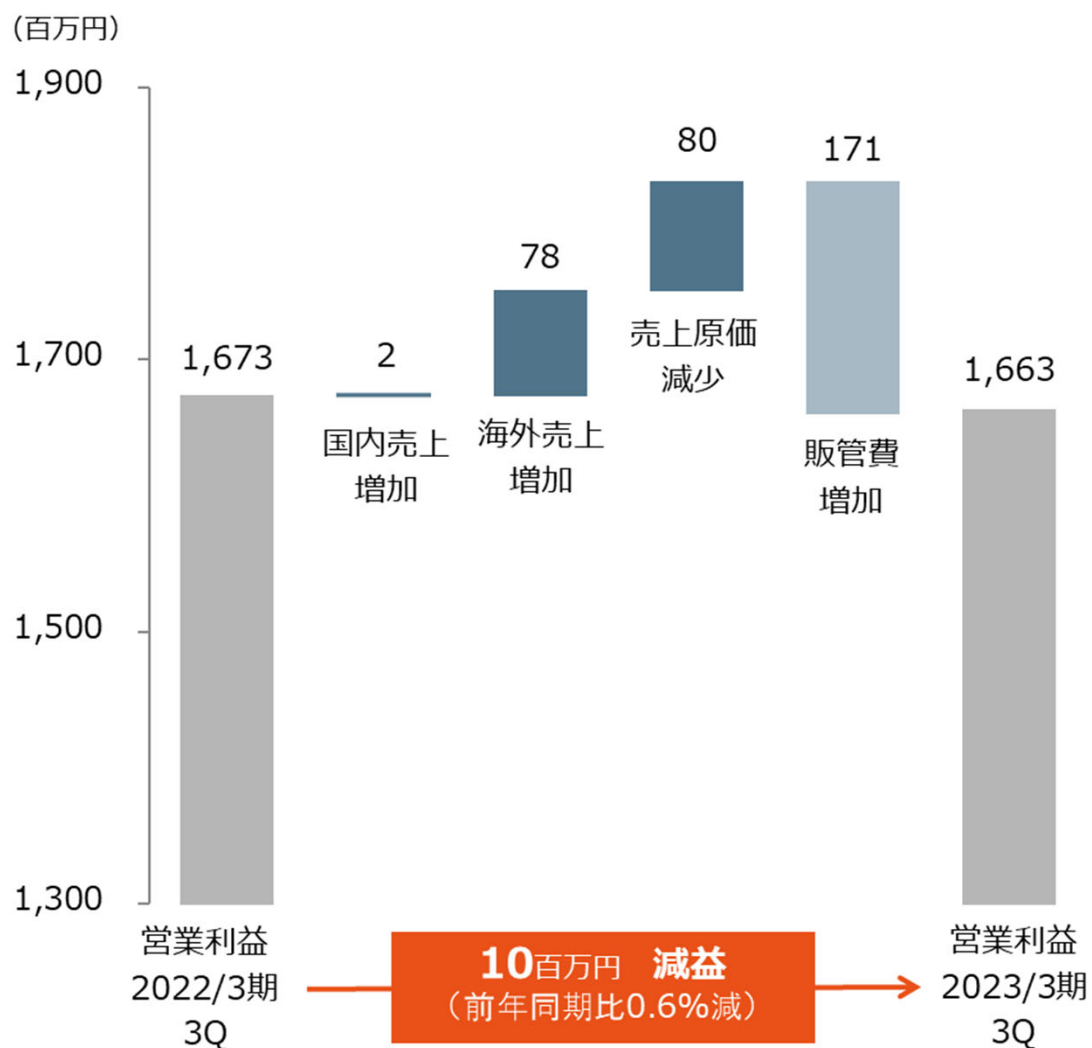
前年同期に比べ増収・減益

通期業績予想に対する利益の進捗率は高め

(単位：百万円)	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	2023年3月期 通期予想	進捗率
<b>売上高</b>	7,279	7,360	9,370	78.6%
前年同期比	+24.8%	+1.1%	-1.6%	
<b>営業利益</b>	1,673	1,663	1,790	92.9%
前年同期比	+79.4%	-0.6%	-15.2%	
<b>経常利益</b>	1,707	1,653	1,790	92.4%
前年同期比	+52.0%	-3.1%	-17.0%	
<b>四半期純利益</b>	1,181	1,120	1,210	92.6%
前年同期比	+55.4%	-5.2%	-20.5%	

- 自動車関連は半導体や一部部品不足の影響を受け減産が継続し、回復が遅れている。半導体や電子部品・デバイス関連では活況が続いていたスマートフォンやPC関連等で需要の落ち着きが見られたが、概ね堅調に推移した。
- 連結売上高は7,360百万円と、前年同期比1.1%の増加となった。11月受注分から実施した一部製品値上げ前に、駆け込み需要が見られた。
- 連結経常利益は1,653百万円と同3.1%の減少。売上高経常利益率は22.5%と同1.0ポイント低下。
- 通期業績予想に対する利益の進捗率は90%を超えた。

# 営業利益の減益要因



- 売上高は、国内が前年同期比2百万円、0.1%増加し、海外は同78百万円、3.4%増加した。売上高全体では同80百万円、1.1%の増加となった。
- 売上原価は同80百万円、2.3%の減少となり、売上総利益率は53.6%と同1.7ポイント上昇した。
- 販管費は、同171百万円、8.1%増加した。JIMTOFやIMTSなど実開催の大規模展示会への出展もあり、展示会費や広告宣伝費等を含めた販売費が同45.1%増加した。
- これらの結果、営業利益は同10百万円、0.6%減少し1,663百万円となった。売上高営業利益率は22.6%と前年同期の水準を0.4ポイント下回った。

# 損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	前年同期比 増減率
売上高	7,279	7,360	+1.1%
売上総利益	3,780	3,941	+4.2%
対売上高比率	51.9%	53.6%	
販管費	2,107	2,278	+8.1%
対売上高比率	28.9%	31.0%	
営業利益	1,673	1,663	-0.6%
対売上高比率	23.0%	22.6%	
経常利益	1,707	1,653	-3.1%
対売上高比率	23.5%	22.5%	
四半期純利益	1,181	1,120	-5.2%
対売上高比率	16.2%	15.2%	
設備投資額	287	523	+82.1%
減価償却費	507	495	-2.3%
従業員数（人）	352	351	-0.3%

- 売上高は、増加コストの一部価格転嫁のため実施した値上げ前の駆け込み需要もあり、7,360百万円と前年同期比1.1%の増加。値上げの業績への影響は第4四半期以降となる見込み。
- 売上総利益は3,941百万円と同4.2%増加。改善活動による原価低減の奏功等から売上原価が同2.3%減少しており、売上総利益率は53.6%と同1.7ポイント上昇。
- 販管費は展示会費等の販売費増加等に伴い同8.1%増加し、売上高販管費比率は31.0%と同2.1ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同0.6%減少の1,663百万円、売上高営業利益率は22.6%と同0.4ポイント低下した。
- 設備投資額は、期初計画に基づく生産設備の増強により523百万円と同82.1%の増加。一部導入設備の稼働時期がずれ込んでいるため、減価償却費は同2.3%の減少となった。

# 貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2022年 3月期末	構成比	2023年 3月期3Q末	構成比	前期末比
<b>(資産の部)</b>					
I 流動資産	11,807	66.1%	12,103	66.6%	+2.5%
現金及び預金	8,543	47.8%	8,578	47.2%	+0.4%
受取手形及び売掛金	1,322	7.4%	1,377	7.6%	+4.1%
棚卸資産	1,840	10.3%	2,066	11.4%	+12.2%
II 固定資産	6,066	33.9%	6,060	33.4%	-0.1%
有形固定資産	5,435	30.4%	5,457	30.0%	+0.4%
無形固定資産	32	0.2%	27	0.2%	-16.2%
投資その他の資産	598	3.4%	575	3.2%	-4.0%
<b>資産合計</b>	<b>17,874</b>	<b>100.0%</b>	<b>18,163</b>	<b>100.0%</b>	<b>+1.6%</b>
<b>(負債の部)</b>					
I 流動負債	1,483	8.3%	1,065	5.9%	-28.2%
買掛金	249	1.4%	274	1.5%	+10.0%
II 固定負債	224	1.3%	224	1.2%	-
<b>負債合計</b>	<b>1,708</b>	<b>9.6%</b>	<b>1,289</b>	<b>7.1%</b>	<b>-24.5%</b>
<b>(純資産の部)</b>					
<b>自己資本合計</b>	<b>15,950</b>	<b>89.2%</b>	<b>16,657</b>	<b>91.7%</b>	<b>+4.4%</b>
<b>純資産合計</b>	<b>16,165</b>	<b>90.4%</b>	<b>16,873</b>	<b>92.9%</b>	<b>+4.4%</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>17,874</b>	<b>100.0%</b>	<b>18,163</b>	<b>100.0%</b>	<b>+1.6%</b>

## 流動資産

商品及び製品や原材料といった棚卸資産が増加したこと等から前期末比2.5%増加。

## 固定資産

有形固定資産は微増、投資有価証券の評価損計上等により投資その他の資産が減少したことから同0.1%減少。

## 負債

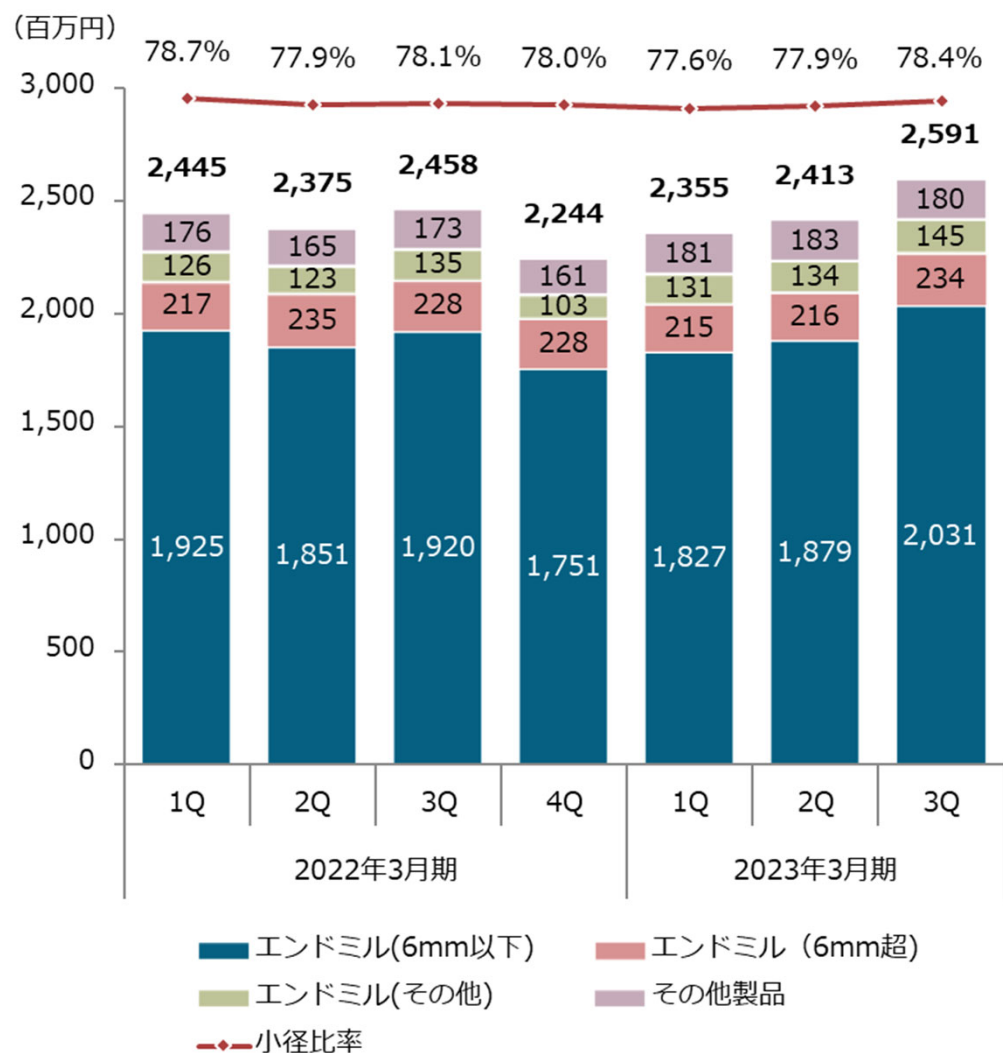
未払法人税等や賞与引当金の減少等により、同24.5%減少。

## 純資産

利益剰余金の増加等から、同4.4%増加。自己資本比率は91.7%と同2.5ポイント上昇。

# 四半期業績推移（売上高の推移①） 製品別

## 製品別売上高と小径比率の推移

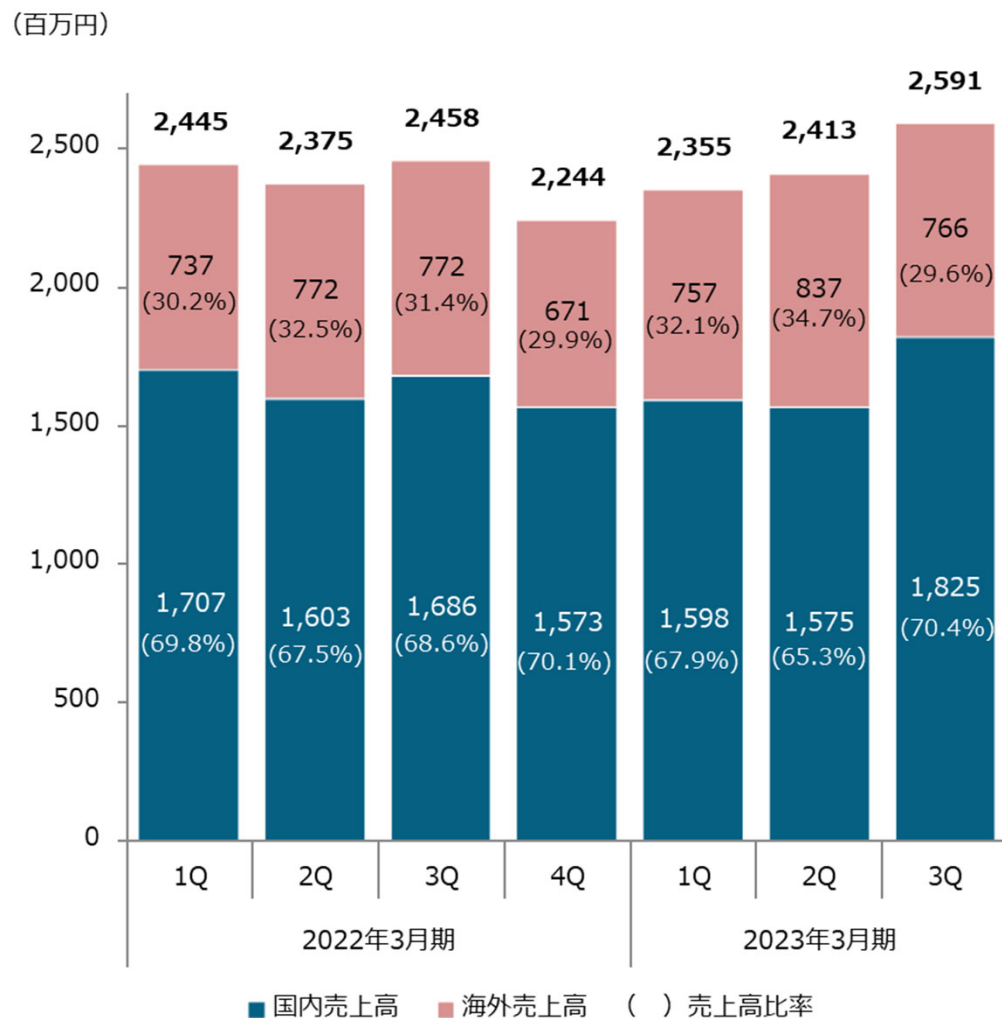


- 自動車関連は、半導体や部品の供給不足により大手自動車メーカーの生産台数が回復せず。半導体や電子部品・デバイス関連は、活況となっていたスマートフォンやPC等の半導体関連で需要が一巡したものの、概ね堅調。また、一部電子部品関連での受注が伸びた。
- 10-12月の売上高は2,591百万円と前年10-12月比5.4%増加。当期の7-9月比では7.4%増加した。11月受注分からの値上げ前に駆け込み需要があった。
- 製品別では、主力のエンドミル（6mm以下）が前年10-12月比5.8%増加、エンドミル（6mm超）は同2.5%増加した。ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同7.6%増加、工具ケース等のその他製品は、同3.6%増加した。小径比率は78.4%となった。



## 四半期業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

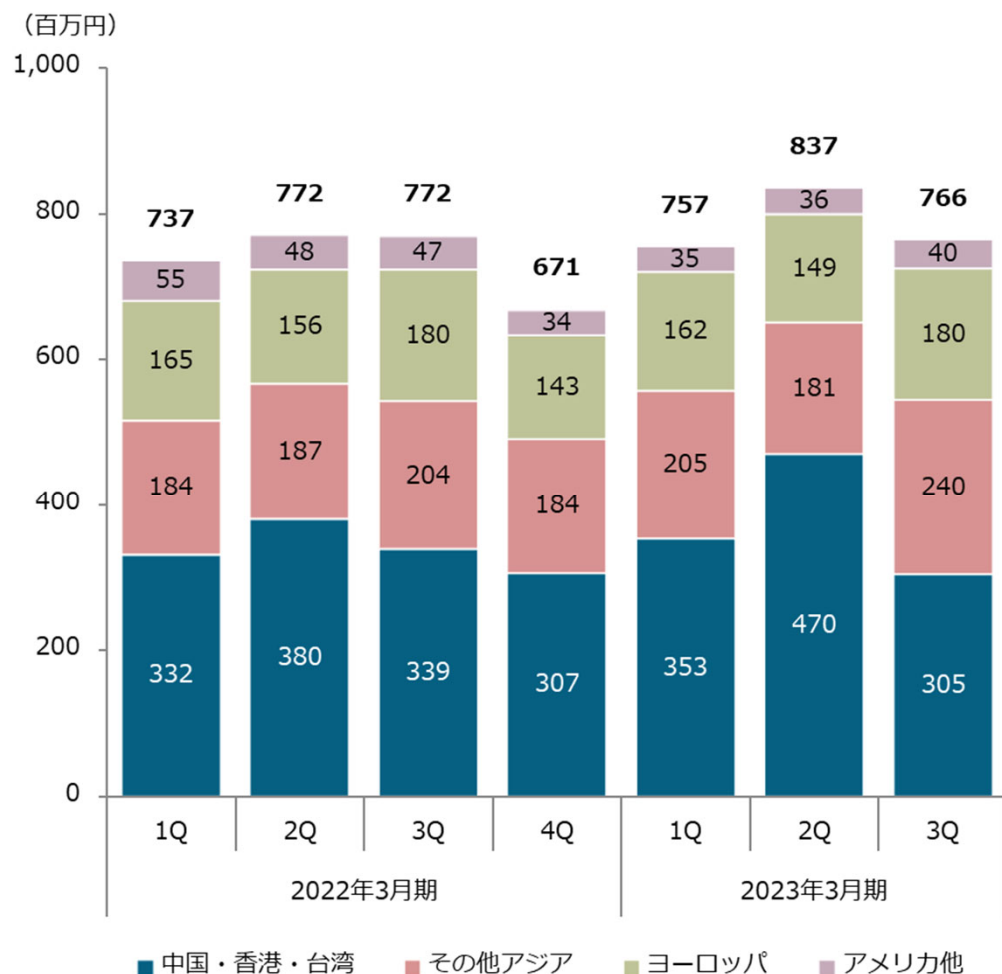
### 国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年10-12月比139百万円、8.3%増加し1,825百万円となった。値上げ前の駆け込み需要が寄与した。
- 海外売上高は同6百万円、0.8%減少し、766百万円となった。日進工具香港の連結により、当四半期の中国向けの数字は7-9月分。4-6月にスマートフォン向け需要が高まった中華圏の売上が減少。
- 海外売上高比率は国内売上高が増加したことから、前年10-12月比1.8ポイント低下し29.6%となった。

## 四半期業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

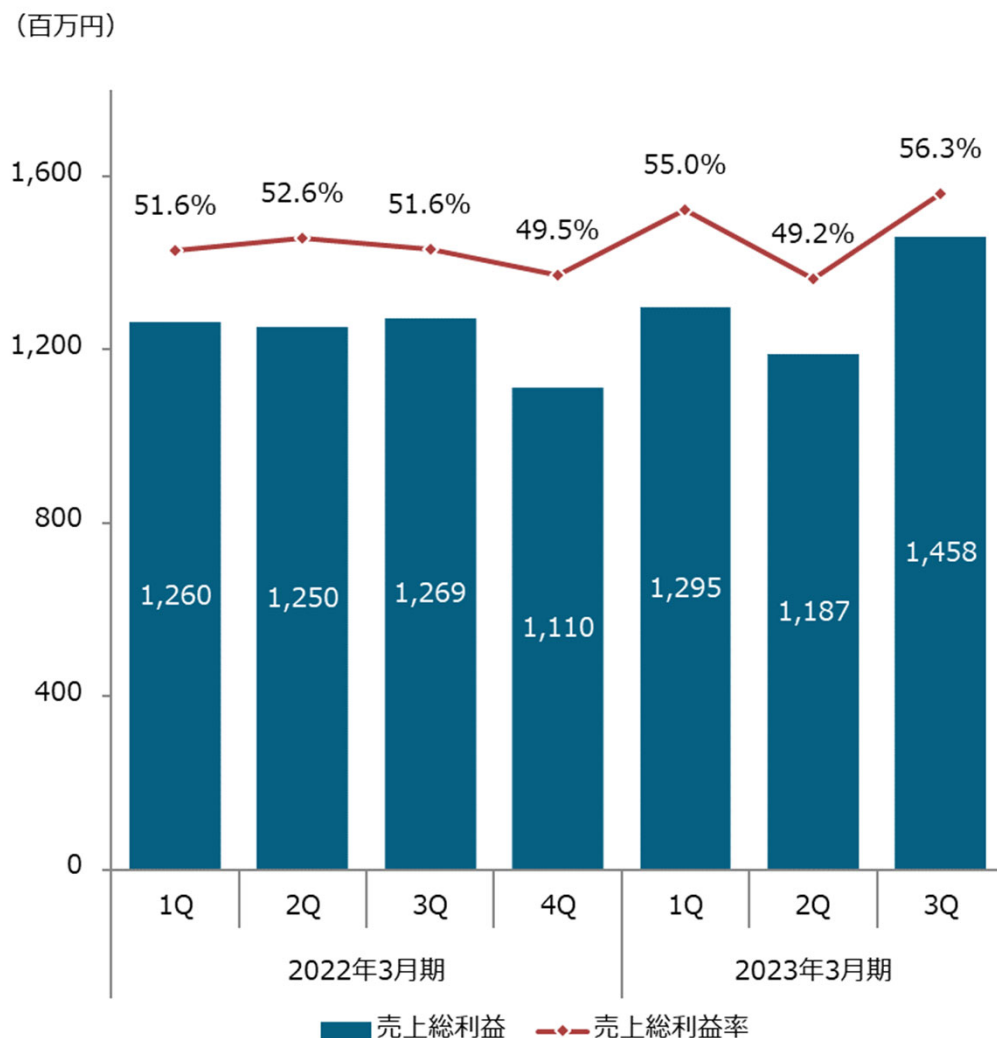
### 海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年10-12月比10.1%減少し305百万円となった。台湾は光学レンズ関連が引き続き好調であった。一方、中国・香港向けは7-9月の売上となるが、スマートフォン向け需要の一服や、ユーザーの工場稼働率低下等から工具需要が減少した。
- その他アジアは前年10-12月比17.5%増加し240百万円。一部地域で半導体や部品不足が改善し、自動車関連で生産が回復した。
- ヨーロッパはウクライナ情勢を起因とした燃料費の高騰により仕事量を抑制する動きがあったものの一部需要の回復が見られ、180百万円と前年10-12月比では横ばいも、当期7-9月比20.8%増加。
- アメリカ他は前年10-12月比15.6%減少し40百万円。昨年設立したNS TOOL USAが8月より受注を開始。受注の移管を進めており、2023年より本格的な稼働となる予定。

## 四半期業績推移（売上総利益の推移）

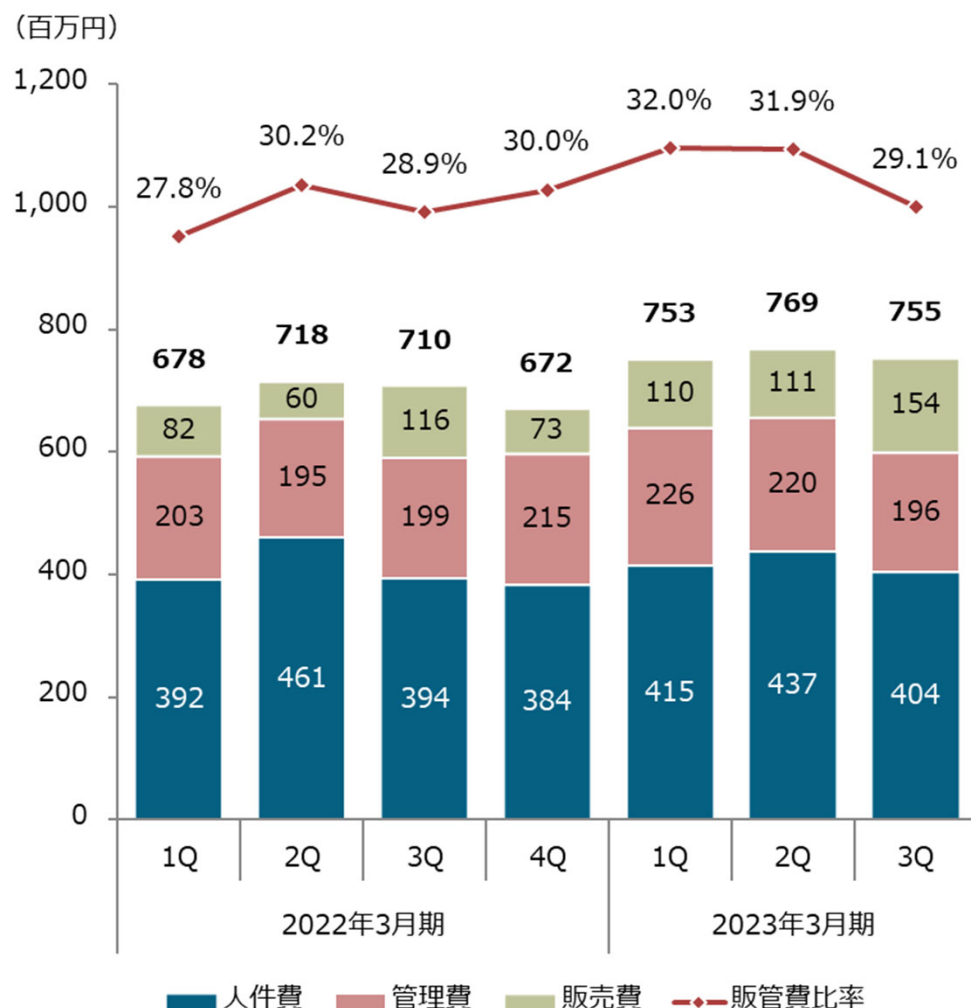
売上総利益と売上総利益率の推移



- 原材料費や労務費はやや増加した。一方、電力費が前年10-12月比で5割程度上昇するなか、内製化推進及びコスト削減により外注加工費及び製造経費が減少した結果、製造原価は前年10-12月比で減少。
- 売上原価は上記に加え、日進工具香港の連結により、売上が少なかった7-9月の売上原価加算の影響で、前年10-12月比4.7%の減少となった。
- これにより売上総利益は同14.9%増加し1,458百万円、売上総利益率は56.3%と同4.7ポイント上昇した。

# 四半期業績推移（販管費の推移）

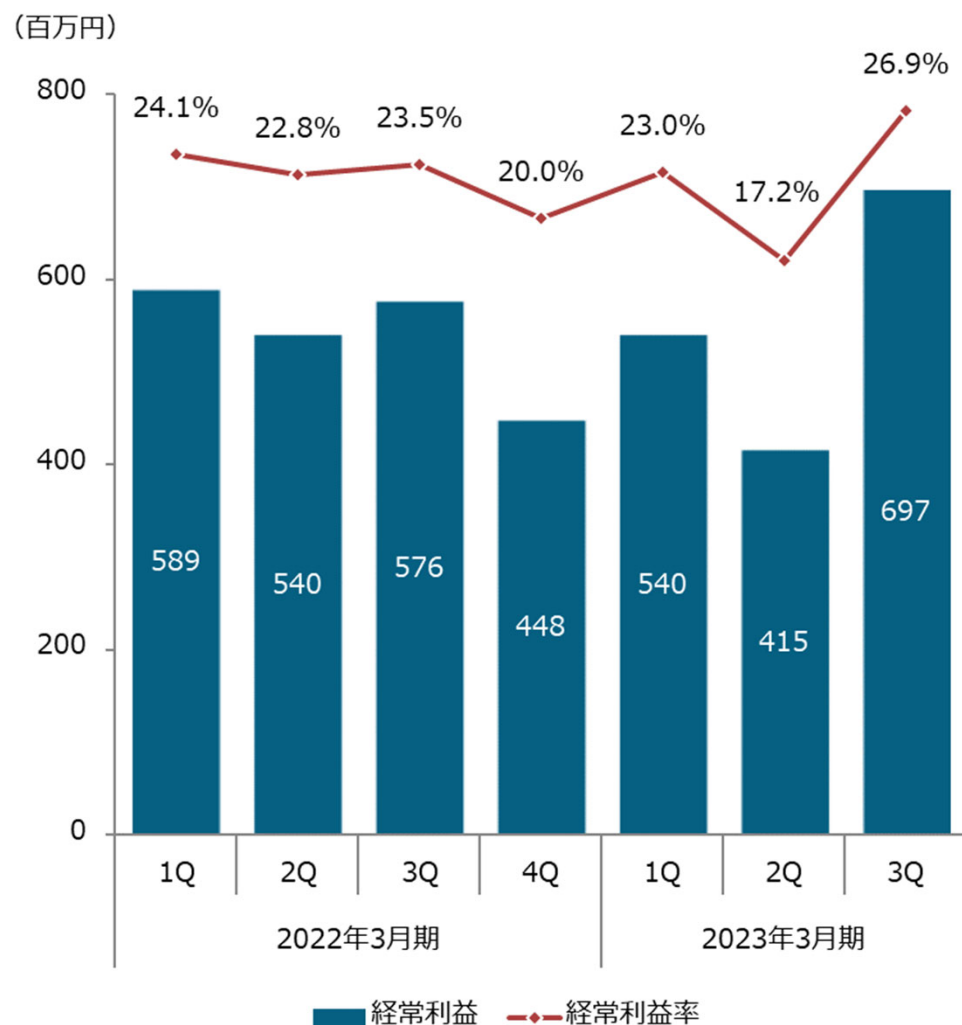
## 販管費と販管費比率の推移



- 販売費は、国内最大規模の工作機械見本市「JIMTOF」への出展により展示会費が増加した。また、それに合わせたカタログ改訂やパンフレットの制作により広告宣伝費等も増加したことから、前年10-12月比32.6%増加の154百万円となった。
- 人件費は、404百万円と前年10-12月に比べ若干増加。
- 販管費全体では前年10-12月比6.3%増加の755百万円、売上高販管費比率は29.1%と同0.2ポイント上昇した。当期の7-9月比では2.8ポイント低下した。

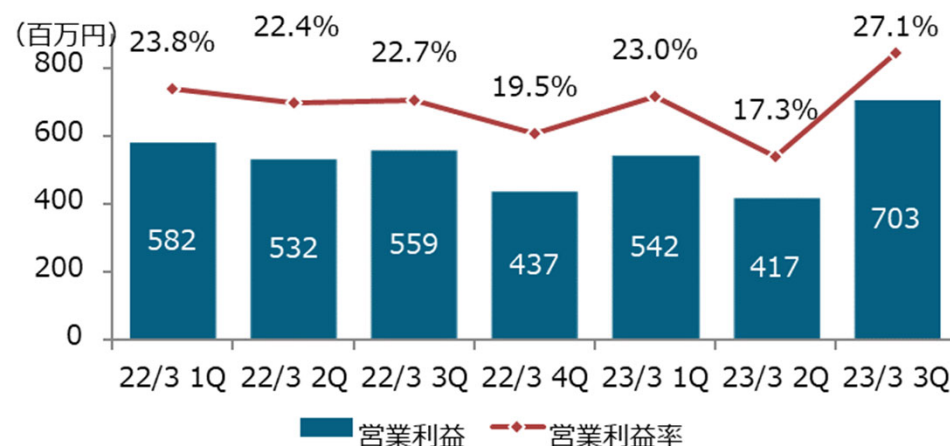
# 四半期業績推移（経常利益の推移）

## 経常利益と売上高経常利益率の推移



- 営業利益は販管費が増加したものの、売上総利益の増加により前年10-12月比25.7%増加、703百万円となった。
- 営業外損益で為替差損が10百万円発生したこと等により、経常利益は697百万円、同21.0%の増加。
- 売上高経常利益率は26.9%と前年10-12月の水準を3.4ポイント上回った。

## (参考) 営業利益と売上高営業利益率の推移



# 2023年3月期の業績予想



# 業績予想

(単位：百万円)	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	9,524	9,370	-1.6%
営業利益	2,111	1,790	-15.2%
経常利益	2,156	1,790	-17.0%
当期純利益	1,522	1,210	-20.5%
設備投資額	659	1,064	+61.4%
減価償却費	692	780	+12.8%
EPS (円)	60.89	48.56	-20.2%
1株当たり配当金 (円)	22.50	22.50	-

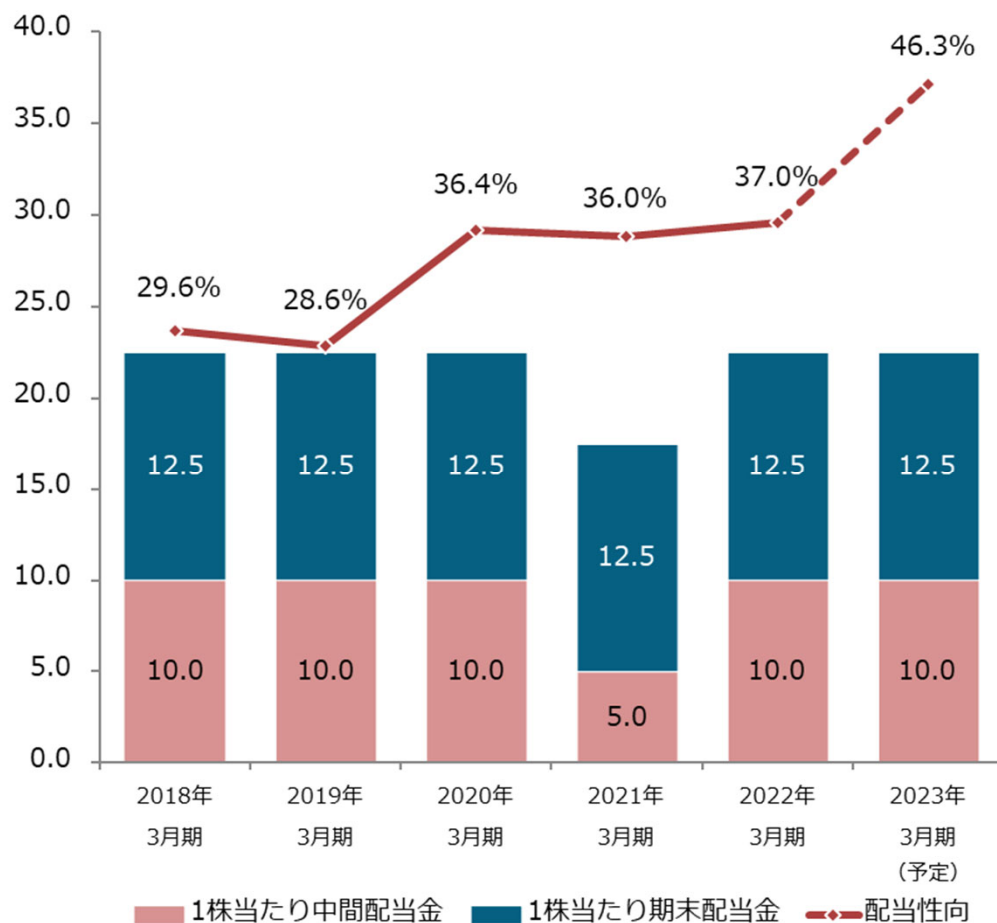
- 年明け以降も景気後退懸念は残り、自動車関連の減産は継続、半導体関連でも需要が落ち着くとみられ、工具需要はやや低調に推移すると見込まれる。資源高や円安により原材料や電力費を中心にさらなるコスト上昇も想定される。
- コスト上昇の一部を価格転嫁するため、11月受注分から一部製品の値上げを実施、値上げ前の駆け込み需要があった。
- 売上高は前期比1.6%減の9,370百万円、営業利益は同15.2%減の1,790百万円、経常利益は同17.0%減の1,790百万円を予想。第3四半期終了時点での進捗率は高いものの、駆け込み需要の反動を含めた値上げの影響が第4四半期以降となることに加え、製造原価・販管費ともに増加が見込まれるため、業績予想は据え置き。
- 設備投資は、設備増強等の投資計画に変更なし。
- 1株当たり配当金は据え置きを予定。年間では中間配当金10円を含め、22.5円を継続。

# 下期業績予想と進捗率

(単位：百万円)	2023年3月期								
	下期					通期			
	下期予想	売上比	3Q実績	売上比	下期進捗率	通期予想	売上比	3Q累計実績	進捗率
<b>売上高</b>	4,601	—	2,591	—	56.3%	9,370	—	7,360	78.6%
前年同期比	-2.2%		+5.4%			-1.6%		+1.1%	
<b>営業利益</b>	829	18.0%	703	27.1%	84.7%	1,790	19.1%	1,663	92.9%
前年同期比	-16.8%		+25.7%			-15.2%		-0.6%	
<b>経常利益</b>	834	18.1%	697	26.9%	83.7%	1,790	19.1%	1,653	92.4%
前年同期比	-18.7%		+21.0%			-17.0%		-3.1%	
<b>当期純利益</b>	589	12.8%	500	19.3%	84.8%	1,210	12.9%	1,120	92.6%
前年同期比	-21.5%		+21.7%			-20.5%		-5.2%	



# 配当予想（株主還元について）



※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

## 安定性・継続性に配慮しつつ

### 業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2022年3月期の1株当たり年間配当金は22.5円。  
中間配当10円、期末配当12.5円  
配当性向は37.0%
- 2023年3月期の1株当たり年間配当金は22.5円を予定。  
中間配当10円、期末配当12.5円  
業績予想に対する配当性向は46.3%
- 株主優待  
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、  
1単元（100株）以上を保有する株主様を対象に  
オリジナルクオカード1,000円分を贈呈。

なお、保有年数3年以上の株主様には1,000円分を  
追加で贈呈。

## 參考資料

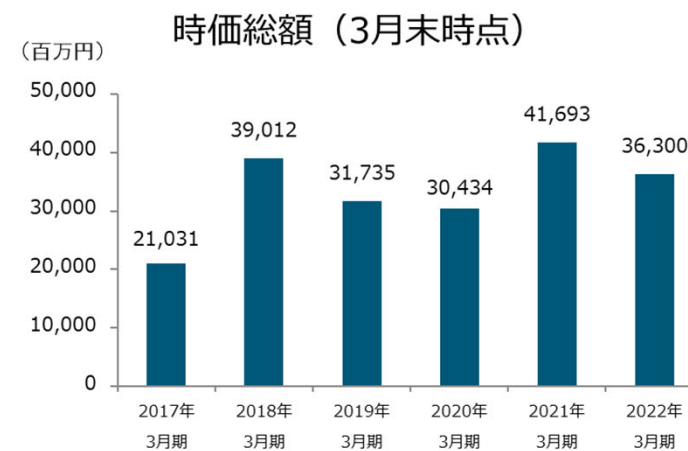
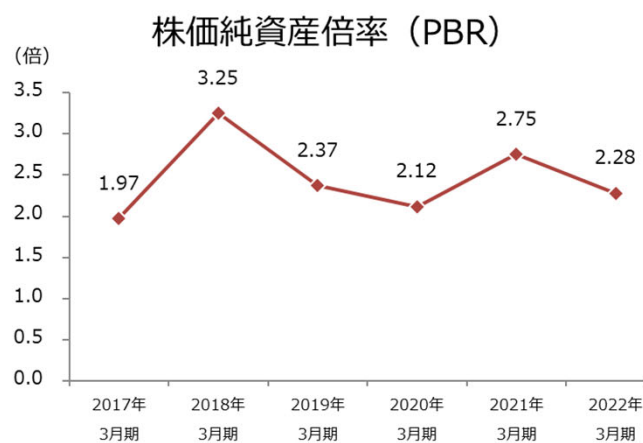
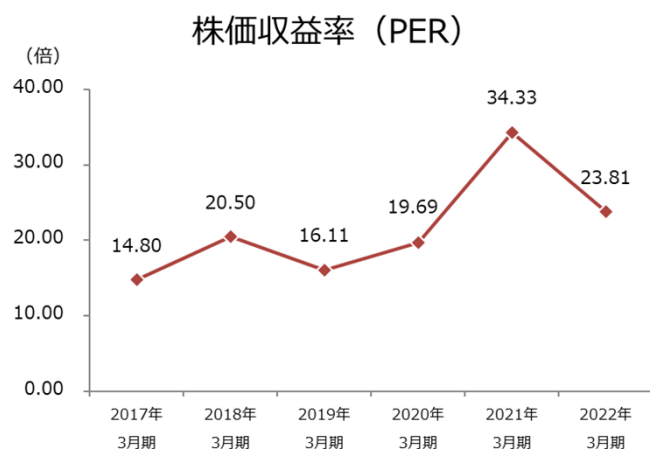
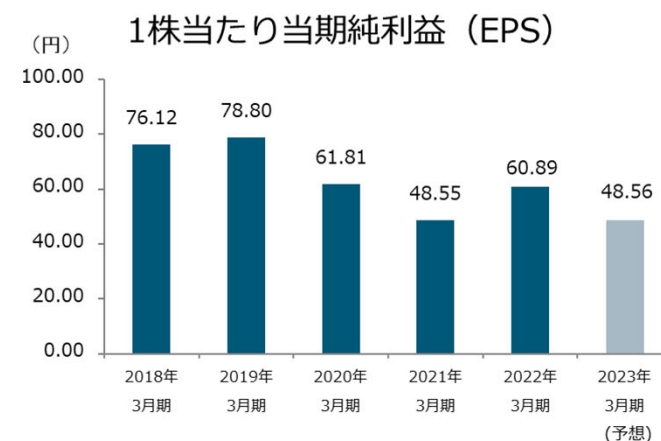
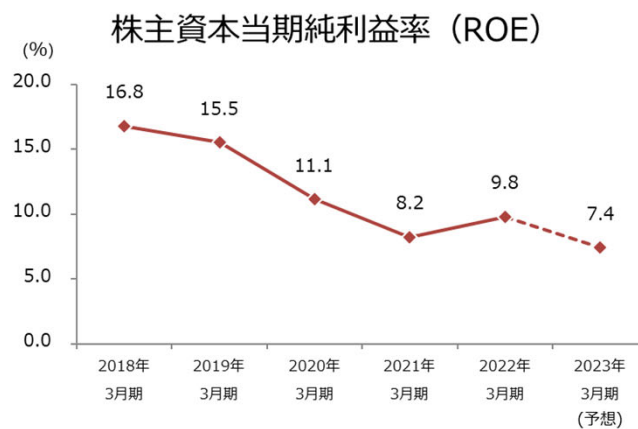
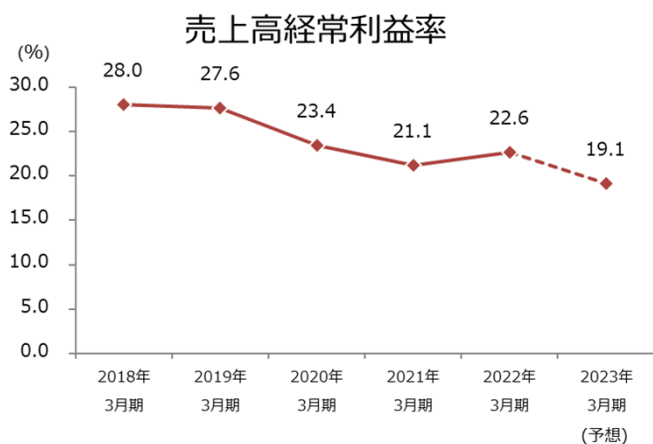


# 過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績
売上高	9,767	10,476	9,531	8,100	9,524
営業利益	2,695	2,879	2,219	1,512	2,111
営業利益率	27.6%	27.5%	23.3%	18.7%	22.2%
経常利益	2,733	2,894	2,231	1,712	2,156
経常利益率	28.0%	27.6%	23.4%	21.1%	22.6%
当期純利益	1,903	1,970	1,545	1,214	1,522
当期純利益率	19.5%	18.8%	16.2%	15.0%	16.0%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	12,002	13,461	14,498	15,326	16,165
総資産額	14,467	15,381	16,017	16,936	17,874
自己資本比率	83.0%	87.1%	89.7%	89.4%	89.2%
設備投資額	663	1,268	1,755	462	659
減価償却費	625	629	698	707	692
1株当たり配当金（円）	22.50	22.50	22.50	17.50	22.50
従業員数（人）	338	343	338	339	348

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

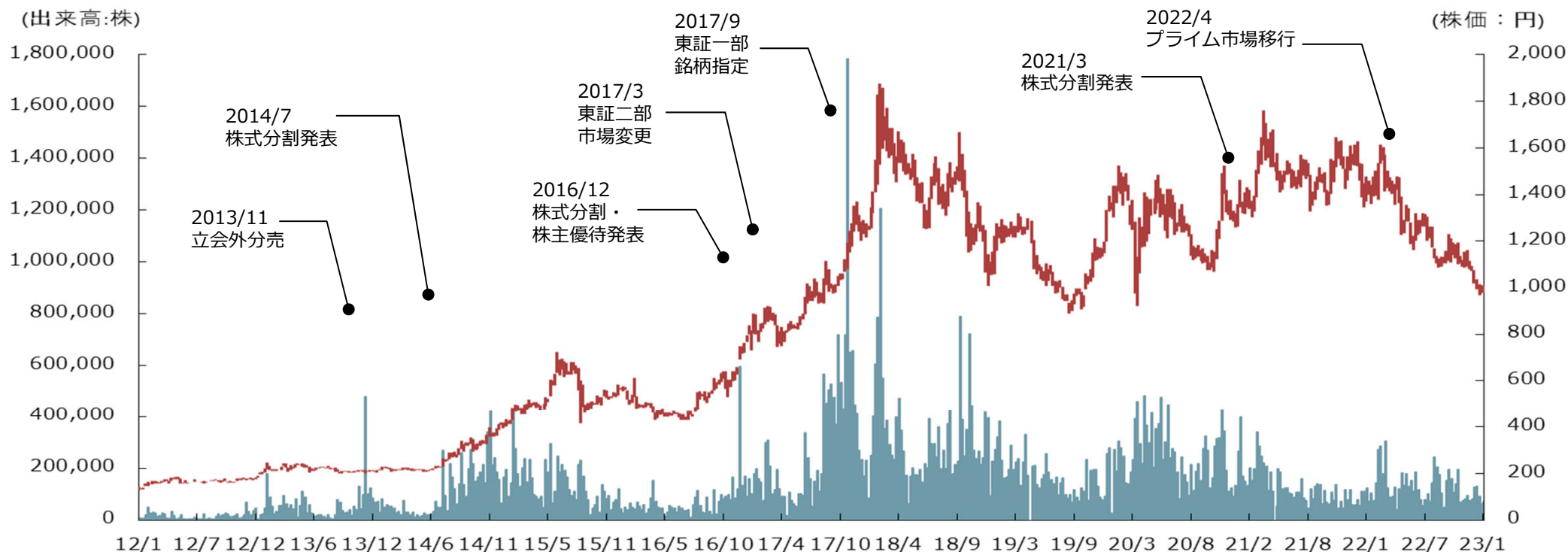
# 投資指標



※ 2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

# 株価推移とバリュエーション

## 週足ベース株価推移（2012年1月～2023年1月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

## バリュエーション（2023年1月27日現在）

売買単位	100株
時価総額	268億円
ROE (22/3期実績)	9.8%

単元株価格	10万7,100円
PER (23/3期予想)	22.06倍
PBR (22/3期実績)	1.67倍

# IR情報サイトのご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR information website. The navigation menu includes '製品情報', '事例・技術情報', '会社情報', '採用情報', and 'IR情報' (highlighted in orange). The main content area is titled 'Investor Relations' and 'IR情報', with the stock code 'プライム市場 コード: 6157'. The page is divided into two main sections: 'IRトピックス' (IR Topics) and 'IRニュース' (IR News). The 'IRトピックス' section lists recent reports, including 'ベル企業レポート (2023年3月期第2四半期) [PDF] (992KB)' and '2023年3月期 中間報告書[PDF] (1,706KB)'. The 'IRニュース' section features a news item from 2023.01.11 about a CEO's appearance on a radio. A right-hand sidebar contains a 'IR情報' menu with items like 'IR情報トップ', 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', '経営方針・体制・コーポレート・ガバナンス', '事業戦略', '業績・財務情報', 'IRライブラリー', and 'イベント'. The 'IR情報' menu item is highlighted in orange.

## IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

## メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

## IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

**URL** <https://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

## お問い合わせ

# 日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼管理部長	戸田	覚
管理部	経理課長	今関	弘毅
管理部	I R担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135

FAX : 03-6423-1186

E-mail : [ir@ns-tool.com](mailto:ir@ns-tool.com)

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、  
確約や保証を与えるものではありません。  
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。